



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW コロナ後を見すえた自治体プロモーションとは

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：川原俊明)は6月15日に大学公式HPに特設サイト「OTEMON VIEW(オウテモンビュー)」を開設しました。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

サイトは追手門学院オリジナル記事と他メディアに掲載された関連記事の2つで構成。

本学のような文系学部中心の大学としては珍しい取組で改善を重ね充実していきます。

コロナ禍を教育・研究の視点から

今、話題のニュースの一つは、コロナ禍および新型コロナへの対応に関することです。

今回は地域政策が専門の藤原直樹地域創造学部准教授による、コロナ禍以前の自治体の海外プロモーションの取り組み調査をもとに、アフターコロナ時代に求められる自治体施策に関する分析レポートです。

以下は主なポイント。

地方自治体の海外プロモーションとは

- 海外見本市に出展する自治体
- 海外メーカーとの提携がブランド向上に
- 求められる自治体による地元企業と海外とのマッチング

リモート化が地方自治体にもたらすもの

- 保養所をレンタルITオフィスに。ワーケーション拡大の可能性
- 企業誘致からサテライトオフィス誘致へ
- 求められる自治体職員の専門性の向上

詳しくは記事本体をぜひご覧ください。

前編: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/750/>

後編: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/755/>



OTEMON VIEW トップページ



フランス・パリの見本市に出展した
佐賀県有田市のブース

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西